

## < 宮崎の空襲について調べる >

1945(昭和20)年3月から8月にかけて、宮崎県内は艦載戦闘機グラマンなどからの空襲により、甚大な被害を受けました。あの日から間もなく80年を迎えようとしています。悲しい出来事を風化させず、二度と戦争を起こさないように、当時の状況等について執筆された資料をご紹介します。

### 宮崎の空襲を調べるには？



☆ 県立図書館ホームページの蔵書検索や資料検索機で、「市町村名(又は地域名) ■ 空襲」「市町村名(又は地域名) ■ 戦災」「市町村名(又は地域名) ■ 太平洋戦争」でキーワード検索します。

※ ■はスペース 例)「宮崎市 空襲」「都城市 戦災」

☆ 地域の空襲については、上記の方法で該当資料が表示されなくても、各市町村史(誌)や各地域の郷土史(誌)で調べることができます。「空襲の状況」「戦時下体制」「戦時下の生活」「戦時下の教育」「戦後の復興」などについて書かれています。

☆ 郷土史(誌)は郷土資料室にあります。市町村ごとに並んでいます。

☆ 見つけた資料に記載されている「出典」や「参考文献」も調べてみましょう。

### 1 本・DVDで調べる

#### 《宮崎県全域》

資料・内容	請求記号 (ラベル)
『宮崎県史 通史編 近・現代2』 宮崎県／編集 宮崎県 2000 県内全域の空襲について網羅的に書かれています。「掩体壕*(宮崎市赤江)」「防火訓練」の写真や空襲を伝える新聞記事が掲載されています。p656~662の参考文献・史料一覧も参考になります。	郷土資料 219600/ 7-6-4-2
『日本の空襲 八 九州』 日本の空襲編集委員会／編 三省堂 1980 宮崎市、延岡市、日向市、高鍋町、油津町(現日南市)、都城市、小林市の空襲について書かれています。「高鍋市街地罹災状況図」が掲載されています。宮崎県の空襲については、p298~338に記載されています。	郷土資料 2107/89-8

<p>『記録・宮崎の空襲 [1]』 三上謙一郎／著 鉦脈社 1979</p> <p>各種文献や遺族の証言等をもとに、宮崎市、延岡市の空襲の記録が書かれています。「宮崎飛行場への爆撃」の写真、巻末に、附録資料「宮崎市戦災死没者名簿（昭和20年）」が掲載されています。</p>	<p>郷土資料 219600/34-1</p>
<p>『里も村も空襲されたー記録・宮崎の空襲 [2]』 三上謙一郎／著 鉦脈社 1985</p> <p>小林市、佐土原町の空襲について、『記録・宮崎の空襲[1]』への補記が書かれています。巻末に「宮崎の空襲年表」「宮崎市戦災死没者名簿（昭和60年3月18日現在）」が掲載されています。</p>	<p>郷土特設 219600/34-2</p>
<p>『宮崎県の百年』 別府俊紘／著 山川出版社 1992</p> <p>宮崎市、延岡市、都城市、油津町（現日南市）、富島（現日向市）、都井岬の空襲について書かれています。県下の戦時体制、復興についても記載されています。戦時下の様子、「米軍機空襲後の延岡市街地」の写真も掲載されています。</p>	<p>郷土資料 219600/35</p>
<p>『語りつぐ ふるさとの太平洋戦争』</p> <p>「語りつぐ」編集委員会／編集 宮崎県退職教職員連絡協議会 2002</p> <p>県内各地の空襲、飛行場・軍場、特攻関係などの記録、戦時中の子どもや教職員の体験、当時の生活の様子について書かれています。地図、写真、略年表など資料も豊富で、中高生の学習資料としても活用できます。</p>	<p>郷土資料 916か/302</p>
<p>『宮崎の昭和史 100万県民が歩んだ道』</p> <p>宮崎日日新聞社出版企画部／編集 宮崎日日新聞社 1975</p> <p>p76～107に「戦争」について書かれています。p88～93に県内全般の空襲について書かれています。「急降下して機銃掃射するグラマン機」「焦土と化した延岡市街地」などの写真も掲載されています。</p>	<p>郷土資料 219600/234</p>
<p>『日本都市戦災地図』 第一復員省資料課／編 原書房 1983</p> <p>全国の戦災地図がまとめられています。宮崎県については、宮崎市、延岡市、都城市、富島町（現日向市）の地図が掲載されています。爆弾攻撃被害区域や焼失区域等が記載されています。記載内容は地図によって異なります。</p>	<p>M書 2107/ 1433-77e1</p>
<p>『戦災復興誌 第6巻』 建設省／編 都市計画協会 1958</p> <p>宮崎市、都城市、延岡市の戦災復興について、市勢概況、罹災状況及び応急対策、戦災復興土地区画整理事業、戦災復興計画等について書かれています。写真や「復興都市計画図」も掲載されています。</p>	<p>M書 3187/2-6</p>
<p>『アメリカ海軍艦載機の日本空襲』 工藤洋三／著 工藤洋三 2018</p> <p>戦争末期の日本本土空襲を米軍が撮影した豊富な写真と米海軍の戦闘報告書の記述を中心にまとめています。新田原飛行場、宮崎飛行場、富高飛行場への攻撃、南九州攻撃（都城市を含む）について書かれています。</p>	<p>部門別 2107/1462</p>
<p>『日本空襲の全容 米軍資料 マリアナ基地B29部隊』</p> <p>小山 仁示／訳 東方出版 1995</p> <p>マリアナ基地のアメリカ陸軍航空隊B29部隊の「作戦任務要約」と「作戦任務概要」を翻訳した資料です。新田原飛行場、宮崎飛行場、都城飛行場、富高飛行場、延岡市街地への空襲に関する任務概要について書かれています。</p>	<p>書庫 3 3912/167</p>



\* 掩体壕(えんたいごう)とは、敵からの爆撃や砲撃、銃撃などから軍用機や人員を守るためにコンクリートなどで造られた施設です。

《西白杵・東白杵地域》

資料・内容	請求記号 (ラベル)
『太平洋戦争延岡空襲戦災記』市山幸作／著 延岡空襲戦災記刊行会 1983 延岡市の戦時体制や軍需工場、空襲の戦災記、延岡空襲殉難碑建立等について書かれています。焼夷弾攻撃や大型油脂弾投下、大空襲直後の延岡市街等の写真、戦災地図「戦災死没者名簿」も掲載されています。	郷土特設 916 1/154
『我が故郷に戦火燃ゆ 延岡大空襲の記録』渡木真之／絵と文 鉦脈社 1994 延岡大空襲についてイラストとともに詳細にかかれています。戦時下(昭和12年以降)の子どもたちの生活や教育についてもかかれています。14回に渡る延岡空襲の略年表も掲載されています。	郷土資料 2107/647
『褐色の日々 蘇みがえる亡霊／戦争の記録・郷土も戦場だった』 渡木真之／著 渡木真之 1998 著者の延岡での戦争体験がかかれています。戦時下の国民生活や子どもたちの生活、延岡空襲、戦災後の様子、平和への願い等が著者のイラストとともに詳細にかかれています。	郷土資料 9167/78
『炎の中で 絵と文で綴る延岡大空襲の手記』渡木真之／絵と文 渡木真之 1995 延岡大空襲について著者のイラストとともにかかれています。戦後50年に、空襲の犠牲や戦争の悲劇を忘れないように、平和を願いながらかかれた資料です。	郷土資料 2107/780
『6.29延岡大空襲熱き想いを語る』県北地区退職教職員協議会 2015 延岡大空襲を語り継ぎ、平和を誓うために書かれた脚本です。空襲時の様子が詳細に記されています。英語も併記しています。	郷土資料 3912/236
『延岡空襲の年の日記 国民学校六年・中学校一年』井伊誓／著 井伊誓 1997 平成9年3月10日から同年5月14日に夕刊デイリーに掲載されたものを著者が製本した資料です。昭和20年、国民学校6年・中学校1年の児童生徒が書いた日記が収録されています。当時の写真も豊富に掲載されています。	M書 2100/952
『宮崎の戦争と若者たち 太平洋戦争を語りつぐ4つの物語』 河野富士夫／著 鉦脈社 2020 p15～43に安賀多国民学校で奉職中、延岡大空襲で戦死した栗田彰子先生の生涯について書かれています。焼け野原となった延岡中心街などの写真も掲載されています。p267～308に島野浦島(延岡市島浦町)の戦災について書かれています。	郷土資料 2107/1466
『戦後50年あの日あの時 戦後50年記念誌』 北川町／編 北川町教育委員会／編 北川町 1996 戦後50年の節目の年に、北川町在住24名の筆者が、当時を振り返りながら執筆した資料です。延岡空襲や北川町での戦中・戦後の暮らし、戦後の復興等について書かれています。	郷土資料 916 7/78

『日向市の歴史』 甲斐勝／編著 日向市総務課 1973 日向市の空襲、富高海軍飛行場の建設、富高飛行場と海軍の演習、富高海軍飛行場と神風特別攻撃隊等について書かれています。昭和20年3月18日から8月15日までの空襲についての記録は、詳細に書かれています。	郷土資料 219617/3
『私たちの町でも戦争があった アジア太平洋戦争と日向市』 福田鉄文／著 鉦脈社 2019 富高海軍航空基地、日向市の空襲、戦争遺跡等について書かれています。人間魚雷「回天」と水上特攻艇「震洋」の部隊についても書かれています。戦争遺跡等の写真も掲載されています。	郷土資料 219617/23
『ガイドブック日向市の戦争遺跡 改訂』 宮崎県の戦争遺跡保存を求める市民ネットワーク 2003 富高海軍航空隊、人間魚雷「回天」と水上特攻艇「震洋」、空襲などに関する戦争遺跡を写真や図とともに解説しています。富島町（現日向市）の空襲については、略年表も掲載されています。	郷土資料 2107/1185

《見湯地域》

資料・内容	請求記号 (ラベル)
『たかなべ戦中戦後の体験集』 高鍋町教育委員会社会教育課／編集 高鍋町教育委員会 1992 戦中・戦後の体験について、町内から募集した39編をまとめた資料です。高鍋の空襲に関するものの他、疎開学童、軍隊・抑留、学生、外地・引揚、戦中・戦後の内地などについて書かれています。	郷土資料 9167/222
『いのち輝く 高鍋高等女学校生戦争体験の記録』 杉田樹子／編著 鉦脈社 1988 当時、高鍋高等女学校の新任教師だった筆者が、高鍋高等女学校生の戦争体験の記録を記載した資料です。戦時下の教育、高鍋町の暮らし、高鍋町の空襲について記載されています。	郷土資料 9167/46
『ガイドブック都農・川南・高鍋の戦争遺跡』 宮崎県の戦争遺跡保存を求める市民ネットワーク 都農町の「殉職三先生の碑」、川南町の「空挺落下傘部隊発祥の地碑」「給水塔」、高鍋町の「軍馬招魂碑」「忠烈八勇士の碑」「青い目の人形」「横穴壕」について写真とともに解説しています。	郷土資料 2107/1184

《中部地域》

資料・内容	請求記号 (ラベル)
『死者を追って 記録・宮崎の空襲』 三上謙一郎／著 鉦脈社 1997 「谷口日記」「舟橋日記」「日向日日新聞」等をもとに宮崎空襲の記録をまとめています。「宮崎市戦災死没者名簿」「宮崎市戦災死没者遺族会会員名簿」等の死没者名簿も記載されています。また、多数の参考文献も記載されています。	郷土特設 9163/104- サカ

<p>『戦争と人間 父善美の日記から』 谷口二郎／著 鉦脈社 1995</p> <p>著者の父谷口善美氏の日記を基に、昭和17年から25年までの記録が記されています。当時の「日向日日新聞」の記事も多数掲載されています。『死者を追って 記録・宮崎の空襲』は、この日記の一部を抜粋しています。</p>	<p>郷土特設 2891 7/261</p>
<p>『モスグリーンの青春』 増補新装版 安田郁子／著 鉦脈社 2015</p> <p>赤江海軍施設部に勤務した筆者が、宮崎市の空襲、特攻隊の出撃等について書かれています。特攻機や昭和55年に撮影した赤江飛行場内の掩体壕(*)の写真が掲載されています。</p>	<p>郷土資料 916 ヲ/191- ゾウ</p>
<p>『赤江あの日あの頃』</p> <p>「赤江あの日あの頃」編集委員会／編 赤江ふるさと塾 2010</p> <p>赤江飛行場ができるまでの経緯や飛行場建設の様子、特攻基地としての飛行場、特攻隊の出撃、終戦後の赤江の人たちの暮らし等について書かれています。赤江飛行場に勤務していた方や空襲を体験した方などのインタビューDVD 付きです。</p>	<p>郷土資料 219642/68</p>
<p>『赤江あの日あの頃 第2集』</p> <p>「赤江あの日あの頃」編集委員会／企画・編集 赤江ふるさと塾 2019</p> <p>戦中戦後の体験談が地図や写真とともに書かれています。地下壕、砲台と対空機関砲、昭和20年4月赤江特攻基地空襲写真(米軍機撮影)、米軍戦闘機等の写真が掲載されています。</p>	<p>郷土資料 219642/68-2</p>
<p>『赤江あの日あの頃 第3集』</p> <p>「赤江あの日あの頃」編集委員会／企画・編集 赤江ふるさと塾 2023</p> <p>戦中戦後の体験談や特攻隊の出撃、現在への変遷などについて、地図や写真とともに書かれています。少年飛行兵学校掩体壕(*)、陸上攻撃機、陸上爆撃機等の写真が掲載されています。</p>	<p>郷土資料 219642/68-3</p>
<p>『わが里に火の雨が降った日』 増補改訂新装版</p> <p>津倉の空襲を語る会／編 鉦脈社 2015</p> <p>宮崎郡那珂村(現・宮崎市佐土原町)大字東上那珂字津倉地区が B29の爆撃を受けた空襲について書かれています。体験談や被災図、被害状況、戦略爆撃報告書なども掲載されています。</p>	<p>郷土資料 916 7/66- ゾウ</p>
<p>『戦争生活体験記録集 戦争を背負った私たちの小学校時代の思い出』</p> <p>佐土原町立那珂小学校昭和20年度卒業生同窓会 1995</p> <p>那珂国民学校の昭和20年度第40回卒業生による戦争生活の体験記録集です。津倉地区戦災、戦禍での学校や生活の様子などについて書かれています。学校日誌の抜粋も掲載されています。</p>	<p>郷土資料 916 7/86</p>
<p>『南加納空襲証言集 昭和20年4月26日』 南加納二十歳会 2000</p> <p>昭和20(1945)年4月26日に激しい爆撃を受けた南加納地区について、25名の体験談が収録されています。「南加納地区爆弾炸裂地点(図)」や爆弾の破片、防空壕等の写真も掲載されています。</p>	<p>郷土資料 916 ミ/185</p>

《北諸県・西諸県地域》

資料・内容	請求記号 (ラベル)
<p>『戦後50年私の戦争体験談「道」』 都城市教育委員会／編 都城市教育委員会 1996 都城空襲等の戦争体験談が収録されています。空襲下の市民生活や終戦直後の市民生活など都城市史の抜粋も掲載されています。解説図録に、当時の生活用品、爆弾破片、都城空襲戦災区域図等の写真も豊富に掲載されています。</p>	郷土資料 2107/806
<p>『埋もれた青春』 鎌田政孝／著 鎌田政孝 1995 都城飛行場概要、都城西飛行場空襲、艦載機来襲、B29西飛行場大空襲について書かれています。「昭和20年当時の都城飛行場配置図」や「回想画」の写真も掲載されています。</p>	郷土資料 916カ/256
<p>『花はつばみのままに 旧制小林中学校第23期生・戦争の記録』 福田勉／著 鉦脈社 1989 川崎航空機工場(株)都城工場での空襲、昭和20(1945)年5月8日の都城空襲、阿蘇で受けた空襲などについて書かれています。p208～210に「[表] 都城空襲」(複数の日記等による空襲の記録)が掲載されています。</p>	郷土資料 9167/97
<p>『都城の歴史と人物 “みやこんじょ”を知ろう!!』 増補改訂版 都城市教育委員会事務局文化財課／編 都城市教育委員会 2012 p71～73に「太平洋戦争と都城」について、p74に「戦後の農地開拓」について書かれています。爆撃を受ける西飛行場等の写真も掲載されています。ふりがな付きで小学生でも読むことができます。</p>	郷土資料 児童きょうど 219674/39- ガイ1
<p>『あゝ紅の血は燃えて 勤労働員学徒記録誌』 旧制小林中学校二三回生 1986 旧制小林中学校の生徒が都城への勤労学徒動員中に遭った、昭和20(1945)年5月8日の都城空襲について書かれています。学徒動員先での生活の様子も書かれています。</p>	M 書 9167/50
<p>『かぼちゃの葉蔭 わが家の戦災記』 高橋茂／著 鉦脈社 2005 昭和20(1945)年当時13歳だった著者の家族が受けた都城での空襲、緊急疎開等の体験談が書かれています。「都城市中原町内焼失図」や終戦後の写真も掲載されています。</p>	郷土資料 9167/368
<p>『もろかた／諸県 第41号』 都城史談会／編集 都城史談会 2007 子どもに伝えたい都城盆地の歴史を特集した資料です。「戦時下の小学生時代」「川崎航空都城工場時代の思い出－看護婦として勤めた八月六日のようす－」等が収録されています。</p>	郷土資料 219670/1-41
<p>『証言都城大空襲 BTV戦後70年特別番組』 ビーティーヴィーケーブルテレビ株式会社／制作著作 BTVケーブルテレビ 2015 都城空襲犠牲者遺族会、都城市文化財課、陸上自衛隊都城駐屯地等の協力を得て都城空襲について遺族や体験者の証言により製作されたDVDです。</p>	郷土資料 2107/1389- DVD



請求記号が「M 書」の資料は書庫の中にあり館内閲覧用です。カウンターの職員へお尋ねください。

## 2 Web サイトで調べる

サイト等名 内容	URL
『延岡市における戦災の状況(宮崎県)』(総務省) 空襲等の概況や市民生活の状況・空襲等の状況、復興のあゆみなどが書かれています。「延岡大空襲直後の延岡市街地」などの写真も掲載されています。	<a href="https://www.soumu.go.jp/main_sosiki/daijinkanbou/sensai/situation/state/kyushu_09.html">https://www.soumu.go.jp/main_sosiki/daijinkanbou/sensai/situation/state/kyushu_09.html</a>
『宮崎の戦争記録継承(語り部 2:延岡空襲体験者)』(宮崎県公式チャンネル YouTube) 吉田千鶴子さんが、延岡空襲当日の様子や空襲後の生活などについて語っています。	<a href="https://www.youtube.com/watch?v=qzqw0Ziaqug&amp;list=PLFJCA876iAgjE1uXzRZlwkBpL95M5hv_&amp;index=6">https://www.youtube.com/watch?v=qzqw0Ziaqug&amp;list=PLFJCA876iAgjE1uXzRZlwkBpL95M5hv_&amp;index=6</a>
『日南市における戦災の状況(宮崎県)』(総務省) 空襲等の概況、空襲等の状況、復興のあゆみ、次世代への継承について書かれています。	<a href="https://www.soumu.go.jp/main_sosiki/daijinkanbou/sensai/situation/state/kyushu_10.html">https://www.soumu.go.jp/main_sosiki/daijinkanbou/sensai/situation/state/kyushu_10.html</a>
『宮崎の戦争記録継承(語り部 1:都城空襲体験者)』(宮崎県公式チャンネル YouTube) 地頭所栄八さんが、市街地の空襲や学徒動員中に戦死した県立小林中学校の生徒などについて語っています。	<a href="https://www.youtube.com/watch?v=Ls7jKNCm3rs&amp;list=PLFJCA876iAgjE1uXzRZlwkBpL95M5hv_&amp;index=6">https://www.youtube.com/watch?v=Ls7jKNCm3rs&amp;list=PLFJCA876iAgjE1uXzRZlwkBpL95M5hv_&amp;index=6</a>
『ぼんちくと歴史探検「都城大空襲」』(都城市) 都城大空襲について紹介しています。昭和20年8月9日の空襲被害の地図や航空写真、参考文献、YouTube 動画が盛り込まれています。子どもでも分かりやすいです。	<a href="https://www.city.miyakonojo.miyazaki.jp/site/jidaibunkazai/1703.html">https://www.city.miyakonojo.miyazaki.jp/site/jidaibunkazai/1703.html</a>
『戦災概況図宮崎』(国立公文書館デジタルアーカイブ) 昭和20年12月、戦災の概況を復員帰還者に知らせるために、第一復員省資料課によって作成された宮崎市の戦災概況図です。	<a href="https://www.digital.archives.go.jp/gallery/0000000215">https://www.digital.archives.go.jp/gallery/0000000215</a>



上記以外にも複数のサイトがあります。キーワード例を参考に探してみましょう。

### 《キーワード例》

- ☆ 太平洋戦争/空襲/大空襲/戦災/防空壕/掩体壕/焼夷弾/爆撃/グラマン/戦争犠牲者/戦跡/など
- ☆ いくつかのキーワードを組み合わせたり、調べたい地域と組み合わせたりして検索してみましょう。

### 3 関係機関で調べる

機関名・団体名等	連絡先等
『宮崎の戦争記録継承館』 戦争によって遺されたもの、体験談、各地区の慰霊碑、各地区の追悼式などを収録したサイトを運営しています。	<a href="http://miyazaki-sensokiroku.jp">http://miyazaki-sensokiroku.jp</a> 宮崎市橘通東2丁目10番1号 防災庁舎2階 宮崎県庁 福祉保健部 指導監査・援護課 TEL:0985-26-7061 FAX:0985-26-7346
『宮崎県遺族連合会事務局』 宮崎県平和記念資料展示室の運営やブログの投稿を行っています。	<a href="https://miyazakiizoku.livedoor.blog">https://miyazakiizoku.livedoor.blog</a> 宮崎市末広1丁目5番19号 TEL:0985-22-2858 FAX:0985-20-9495 E-mail : <a href="mailto:info@miyazaki-izoku-rengokai.or.jp">info@miyazaki-izoku-rengokai.or.jp</a>



宮崎の空襲以外も含めた戦争に関する機関です。

当館に所蔵していない貴重な資料が見つかるかもしれません。まず、サイトを閲覧してみてください。